

汚染水海洋放出 各紙が批判

岸田文雄首相は、東京

電力福島第一原発事故で

発生した汚染水（アルフ

ス処理水）の海洋放出を

24日に開始すると表明し

ました。全国紙や地方紙

は23日付で、漁業者など

関係者との約束を反故

（ほご）にする政府の決

定を批判する社説を相次

いで掲載しました。

「毎日」は、「誠意欠い

ながら、誠意ある対応を

定を巡り、漁業関係者に

「踏み絵」を迫るような

れほどの難題を抱えつ

はあまりに乱暴だ」と批

約束反故 政府あまりに横暴

た政治の無責任」と題

し、「政府は」関係者の

理解なしに、いかなる処

分も行わない」と約束し

い」と指摘。「福島の人

たちの思いに寄り添う場

面はほとんど見られなか

った。むしろ、放出の決

順調に進んでも三十年に

及ぶ大事業。誰が、どう

責任を取り続けるといっ

のだろうか」として、「こ

らない」と指摘しまし

た。

北海道新聞は、「国民

の理解を得ないまま重要

た。

琉球新報は、「理解が

得られない中での放出開

始は認められない。方針

を撤回すべきだ」と主張

しました。